

みやぎのだより

No. 150

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和8年1月20日



大崎婦人部研修会



栗原婦人部研修会

CONTENTS

新年のご挨拶	1～2	東北酪農青年女性会議秋季研修会の開催	8
婦人部大崎支部研修会の開催	3	結婚のお祝い	8
青年部交流会の開催	3	輸入粗飼料情勢	9
婦人部栗原支部研修会の開催	4	人事のお知らせ	10
婦人部南部支部交流会の開催	4	理事会通信	10
ミルクキャンペーンキャラクター決定	5	売りたい、買いたい	10
牛乳飲モウ～！キャンペーンのお知らせ	6	令和7年度 生乳生産実績	11
酪農理解醸成活動	7	編集後記	11

新年のご挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

伊藤 一成

組合員の皆さま、あけましておめでとうございます。

旧年中は当組合の事業全般にわたり、利用結集いただき、心より感謝申し上げます。

昨年も、全国各地で大雨、高温、渇水などの自然災害や、鳥インフルエンザなどの影響で、甚大な農業被害が発生いたしました。被害に遭われた皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧、復興を願っております。

日本経済を取り巻く環境は大きく変化しており、特にこの数年はコロナ禍の影響による世界的不況、ウクライナ戦争や中東紛争による世界的原料高が追い打ちをかけており、加えて昨年4月に米国のトランプ政権が発動した相互関税は世界を大きく揺るがしております。

酪農情勢では、一昨年の改正食料・農業・農村基本法の公布・施行を受けて、昨年4月に「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針（酪肉近）」が策定されており、「需要拡大」を前提としつつ、政策効果の検証を十分に行う観点から、基本計画と同様に5年後を目標年度にすることに短縮され、その上で特に焦点とされていた生乳生産目標数量は732万トンに設定されております。また、酪農乳業界では、最大の課題の一つになっております生乳需給対策について、生乳需給の逼迫・緩和の両面に対応するセーフティネット機能として生産者・乳業者の拠出をもって総額155億円の基金を、概ね7年をかけて造成されます。系統・系統外の隔たりなく、このような大きな需給システムが構築され、かつ常設化は画期的なことで、酪農乳業界の発展に貢献するものと大いに期待をしております。

酪農を取り巻く環境は、かつてないスピードで変化しております。世界的な情勢変化に伴う食料安全保障上のリスクの高止まりや、資材、エネルギー価格の高騰による生産コストの上昇、特に輸入飼料がいつでも確保できるという前提の下での規模拡大や効率化を進めることで発展した面



があるものの、ここ数年で前提が変わり、国産飼料基盤に立脚した経営の重要性がこれまでに
なく高まっております。

加えて高齢化や人口減少、消費者の指向変化などの見極めも大切ですが、最も重要な視
点は、酪農乳業の生産基盤の持続可能性を高めることであります。そのためにも現状の生乳生産
量に対して、構造的に生乳需要が不足しているという足元の課題を確実に解決することが重要で、
業界をあげた需要拡大の取組みが最重要課題であります。そして農村の社会文化機能の維持、自
然環境の保全などの多面的な機能を有する家族農業が安定的に営農できるとともに、多様なスタ
イルの酪農経営が共存し、需要拡大の取組み成果等を踏まえた、地域の生乳需要に対応し得る安
定した生産基盤に向けた取組みが肝要であると考えております。

組合員の営農継続と地域酪農の振興が酪農専門農協としての存在意義であり、持続可能な酪農
と食の提供のために、これまで以上に意欲を持って営農できるように組合員の皆さまと向き合い
ながら、その実現に向け、今年も役職員一同邁進いたします。

中国古典の易経の中に「積善の家に余慶あり」という言葉がありますが、偉大なる組織という
ものは力や富だけでなり得るものではなく、組織としての徳と品格が重要な要素であります。昨
年10月に自由民主党総裁の高市早苗氏が女性として我が国の憲政史上初めての総理大臣に選ば
れ、高市氏自らの政治理念を「世界の真ん中で咲き誇る日本」と表現いたしました。それは私
ども国民一人一人の夢でもあります。そのように徳と品格を養い、夢を失うことなく日々を生
きるという心持ちを持ち続けることが、とても大切なことだと思っています。

結びに、令和8年が、皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げま
して、新年のあいさついたします。

婦人部大崎支部研修会の開催

生産支援課

11月12日(水) 婦人部大崎支部は、大崎市古川「アインパルラ浦島」にて「ベジブーケ作り(野菜の花束)」の研修会を開催しました。

ビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富に含まれている野菜を花のようにアレンジしてブーケを作りました。ベジブーケを飾ることで、ストレスを軽減しリラクゼーション効果が期待できます。

また、研修会で使用した人参を使った「人参ドレッシング」のレシピを紹介しました。人参は、ビタミンAや抗酸化物質が豊富であり、免疫力を高める優れた栄養源であるため、ご家族の健康管理を支える一品にいかがでしょうか？



【材料：分量4人分】

- ・人参(1/2本をすりおろし)
- ・玉ねぎ(すりおろして大さじ1)

- | | | | |
|----------|------------|-------|--------|
| A | ・酢 | | (大さじ3) |
| | ・みりん | | (大さじ2) |
| | ・塩 | | (小さじ1) |
| | ・砂糖 | | (小さじ1) |
| B | ・オリーブオイル | | (大さじ3) |
| | ・サラダ油または米油 | | (大さじ2) |
| | ・こしょう | | (少々) |



【人参ドレッシングの作り方】



- ① 鍋に、すりおろした人参と玉ねぎに**A**の調味料を加え、弱火にかけます。
- ② ふつふつと沸いたら、1分半加熱します。
- ③ 耐熱保存容器に移し、熱いうちに**B**の調味料を加えます。
- ④ 粗熱が取れたら冷蔵庫で保存します。(保存期間は6～7日)



青年部交流会の開催

生産支援課

11月27日(木)、ホテルメトロポリタン仙台の「フォレストキッチン」で北部・東部・南部の青年部員と職員との合同交流会を開催しました。

普段味わうことのないリラックスしてくつろげるプライベートルームで、牛の話から趣味の話など時には真剣に、時には笑い溢れ、終始笑顔が絶えることのない会話をしながら、東北6県の豊富な素材を活かしたイタリアンの豊富な料理に舌鼓を打ち楽しんでいました。

短い時間でしたが、新たな気づきのある交流会となりました。

今後は交流の輪を広げ、より多くの人に参加していただき、青年部だけでなく組合全体が盛り上がるような合同交流会にしていきたいです。

婦人部栗原支部研修会の開催

生産支援課

12月15日(月)、婦人部栗原支部は築館の「中照越集会所」にて、「花カフェ花音」の大場育先生をお招きし、花の寄せ植え教室を開催しました。

南天やフリルパンジー、葉ボタンなど多彩な花材を使い、同じ花でも色合いや角度の違いでまったく異なる表情が生まれ、個性豊かで素敵な作品に「これで良い年が迎えられる」「うまくできて良かった」など思い通りの仕上がりに満足していました。

来年も皆さんと一緒に、また素敵な作品づくりができることを楽しみにしています。



婦人部南部支部交流会の開催

仙南支所

11月10日(月)、婦人部南部支部は角田市の「牛たん炭焼き 利久 角田店」にて、交流会を開催しました。昨年7月に仙南支部と仙台支部が合併してから初の活動となり、新体制でのスタートを記念する場となりました。

当日は多くの部員が参加し、利久自慢の牛たん料理を囲みながら、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。

また、ミニゲームも行われ、笑い声が絶えない楽しいひとときとなりました。



2026年度・2027年度 ミルクキャンペーンキャラクター決定！！

宮城県牛乳普及協会

11月29日(土)、エル・パーク仙台にて、「ミルクキャンペーンキャラクター選考会」を開催しました。

書類審査を経て選出された10名による最終選考が行われ、栄えある2026年度・2027年度ミルクキャンペーンキャラクターに選ばれたのは、「^{かなざわ ゆ き}金沢 由季さん」と「^{さくらい め あり}櫻井 夢亜里さん」です。

金沢さんは「人と関わることが大好きで、仕事を通して培ったおもてなしスキルや立ち振る舞いの良さを生かして普及活動を行っていきたい」と抱負を述べていました。

櫻井さんは「手話で、聴覚障害の方ともコミュニケーションを取ることができ、性格も明るく人と接することが好きなので、多くの人に牛乳の魅力を伝えたい」と抱負を述べていました。

来年度から県内で開催されるイベントに参加し、牛乳・乳製品の魅力を伝え、消費拡大に繋げるPR活動を行います。



【左：^{かなざわ ゆ き}金沢 由季さん、右：^{さくらい め あり}櫻井 夢亜里さん】



当協会より組合員の皆様へお知らせしておりますが、牛乳消費拡大の一環として、対象商品を購入した本数に応じて、Webまたは郵送で応募すると抽選で豪華賞品が当たる「牛乳飲モウ〜！キャンペーン」を実施しておりますので、多数の応募をお待ちしております。

対象の牛乳を買って応募すると、抽選で**215名**様に豪華賞品が当たる！

Web・
郵送で
応募OK!

買って**応援!** みんなで**健康**👍

牛乳飲モウ〜!

🐮 **キャンペーン** 🐮

対象商品はこちら!



2025年12月5日(金) ▶ 2026年2月15日(日)



🌟 レシートで簡単応募! 🌟

牛乳を飲めば飲むほど**豪華賞品**が当たる!

特賞
10
名様

購入本数10本

JTBトラベルギフト

3万円相当



A賞

25
名様

購入本数5本
仙台牛
1万円相当



B賞

30
名様

購入本数3本
宮城県産
ひとめぼれ
新米2kg+
ササニシキ
新米2kg



C賞

50
名様

購入本数2本
クリームチーズ
3個詰め合わせ



D賞

100
名様

購入本数1本
QUOカード
500円分



#みやぎミルク レシピフォトコンテスト

🌟 📷 も同時開催! 📷 🌟

宮城県牛乳普及協会のSNS公式アカウント(InstagramまたはX)をフォローのうえ、牛乳・乳製品を使った料理の写真を、
#みやぎミルク をつけてSNSに投稿しよう!
抽選でQUOカード1,000円分を5名様にプレゼント!

※画像は全てイメージです。

主催

宮城県牛乳普及協会



協会公式
Instagram



協会公式 X



お問い合わせ

キャンペーン事務局

miyagi-milk@agency.co.jp

※土日祝を除く3営業日以内に返信いたします。

11月7日(金)、仙台市青葉区「アエル2階アトリウム」において、みやぎの酪農協及び青年部・婦人部と宮城県牛乳普及協会の合同で酪農理解醸成活動を行いました。

活動内容として、消費者へのアンケート調査(回答数157)と牛乳の機能性に関するチラシを配布しながら生産現場や牛乳への想いを伝え、消費者とのコミュニケーションを通して酪農についての理解を深めることができました。

アンケートに協力いただいた方々からは、「毎日欠かさず飲んでいるよ」「一日に1リットルは飲むよ」「酪農は大変厳しいと聞いてますが、いっぱい飲んで応援するので頑張って」など応援の声をいただきました。

また、牛乳を買って応募すると抽選で豪華景品が当たる「牛乳飲モウ〜！」キャンペーンチラシを配布し、牛乳の消費拡大に繋がる活動を行いました。



東北酪農青年女性会議主催秋季研修会の開催

生産支援課

東北酪農青年女性会議主催秋季研修会が、11月18日(火)から19日(水)の2日間にわたり、岩手県盛岡市のつなぎ温泉「ホテル紫苑」で28名の参加のもと開催されました。

講師に全国酪農業協同組合連合会の田中眞二郎研究員をお招きし「設備投資について考える～今、どこにお金をかける?～」をテーマに、4つグループに分かれてのグループワークで始まり、自分の牧場で考えている設備投資の内容(牛舎へのトイレの設置、糞尿の固液分離システム導入、自動給餌機の設置、搾乳システムの更新など)、予算額等を用意された用紙に書き出しグループ内で発表し、続いて田中研究員からフレームワークを活用した設備投資の考え方や進め方等についての説明の後、グループワークで最初に書き出した内容について再検討し、各グループから代表者を決め全体での発表という形で研修会が進みました。

酪農経営は厳しい状況が続いている中、酪農経営の一助となる有意義な研修会となりました。

研究会後の懇親会では、多くの酪友とコミュニケーションを図り親睦を深めることができました。



生産支援課

ご結婚おめでとうございます

栗原支部 富塚光言さんご結婚

栗原支部の「富塚光言さん」と「由佳さん」が8月27日に入籍されました。

お二人の末永いご多幸と繁栄をお祈り申し上げます。



北米コンテナ船情勢

北米西海岸を中心とする航路では、年末商戦に向けた貨物の増加や船腹スペースの減少により滞船が発生し、本船スケジュールに乱れが生じています。11月下旬にロサンゼルス港で停泊中の本船の火災や、台風の影響で東南アジア周辺の港で荷役作業が遅れていることや、年末に向けて中国の主要港で船腹予約も増加しており、船腹スペースは逼迫して遅延に拍車をかけています。

米中貿易協議では、追加関税停止措置が2026年11月10日まで延長することで合意され、一時的に世界市場の混乱は落ち着きを見せつつありますが、交渉の行方次第では駆け込み需要や市場の混乱が再び起きることが懸念されているため注視が必要です。

輸入粗飼料

①ビートパルプ

主産地ミシガン州では、一部の地域で降雨被害がありましたが、25-26年産の収穫作業が終了しており、製糖の製造作業も終盤に差し掛かかっています。依然として欧州やメキシコ、米国内での需要も堅調に推移しています。

②アルファルファ

ワシントン州コロンビアベースンでは収穫作業が終了しています。1番刈りは収穫期に降雨被害の発生がありましたが、2番刈りは上級品の発生が中心となりました。3～4番刈りは近郊で発生した山火事による煙の影響で中級品以下が多く収穫されました。産地相場は低調な需要でしたが中東や中国、韓国からの引き合いが増えてきており堅調に推移しています。

オレゴン州クラマスフォールズでは1～3番刈りは収穫期に降雨が発生し、一部圃場で降雨被害がありましたが、降雨前に収穫した圃場では上級品が中心となりました。

同州中部クリスマスバレーでも生産を終えています。今シーズンは降雨の影響もあり収穫作業が遅れ上級品の発生は限定的となりました。

③チモシー

(US産)

ワシントン州のコロンビアベースンおよびエレンズバーグでは収穫作業が終了しています。1番刈りは上級品が中心となり中級品以下の発生は限定的となりました。2番刈りも天候に恵まれ上級品の発生が中心となりましたが、収穫が進むにつれ降雨が発生し中級品以下も発生しました。

(カナダ産)

アルバータ州南部のレスブリッジでは収穫作業が終了しています。1番刈りは断続的な降雨の影響を受け上級品の発生は限定的となりました。2番刈りについても不安定な天候の影響もあり圃場での乾燥に時間を要し輸出に向かない品質も発生しています。そのため、産地では馬糧向けとの買付競争が激化しており、需要は堅調に推移しています。

④豪州産オーツヘイ

西豪州では好天や適度な降雨があり、上級品～中級品の発生が中心となっています。

南豪州では適度な降雨があり生育は順調でしたが、収穫終盤に降雨被害が発生し中級品が発生しています。降雨を逃れた収穫の前半では見た目が綺麗で分析値が高い品質も多く収穫されています。

東豪州では断続的な降雨の影響で収穫作業が遅れています。収穫期序盤の降雨を逃れた圃場では見た目の綺麗な上級品が発生していますが、収穫できていない圃場については輸出向けに適さない低級品となる見通しです。

人事のお知らせ

総務課

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正職員	大 川 博 江	生産支援課購買係	総務課総務係	令和7年12月1日
正職員	日 下 悠 利	仙南支所総務係（採用）	—	令和7年12月1日
正職員	日 下 ふ み 江	仙南支所業務係長（兼）業務係	仙南支所総務係長	令和7年12月10日
正職員	吉 田 守	仙南支所指導係長（兼）指導係	仙南支所指導係	令和7年12月10日
正職員	佐 藤 克 文	仙南支所指導係	仙南集乳所販売係	令和7年12月10日
正職員	大 沼 友 寛	仙南集乳所販売係（採用）	—	令和7年12月10日
有期職員	佐 々 木 勉	生産支援課購買係（採用）	—	令和7年12月25日
正職員	山 中 沙 稀	—	生産支援課購買係（退職）	令和7年12月31日
正職員	佐 藤 正 紀	—	仙南支所指導係長（兼）指導係（退職）	令和7年12月31日
正職員	小 島 学	—	仙南支所業務係（退職）	令和7年12月31日

理事会通信

総務課

【第8回理事会】

開 催 日 令和7年11月28日

付議事項

第1号議案 令和7年度上半期決算にかかる監事監査報告について

第2号議案 定期賞与(12月期)の支給について

【第9回理事会】

開 催 日 令和7年12月24日

付議事項

第1号議案 職員給与規程の一部変更について

第2号議案 職員の給与に関する規則の一部変更について

売 り た し 、 買 い た し

生産支援課

機 械 名：ジャイロレーキ
メーカー：スター
型 式：MGR4200
購入時期：令和7年10月購入
価 格：140万円

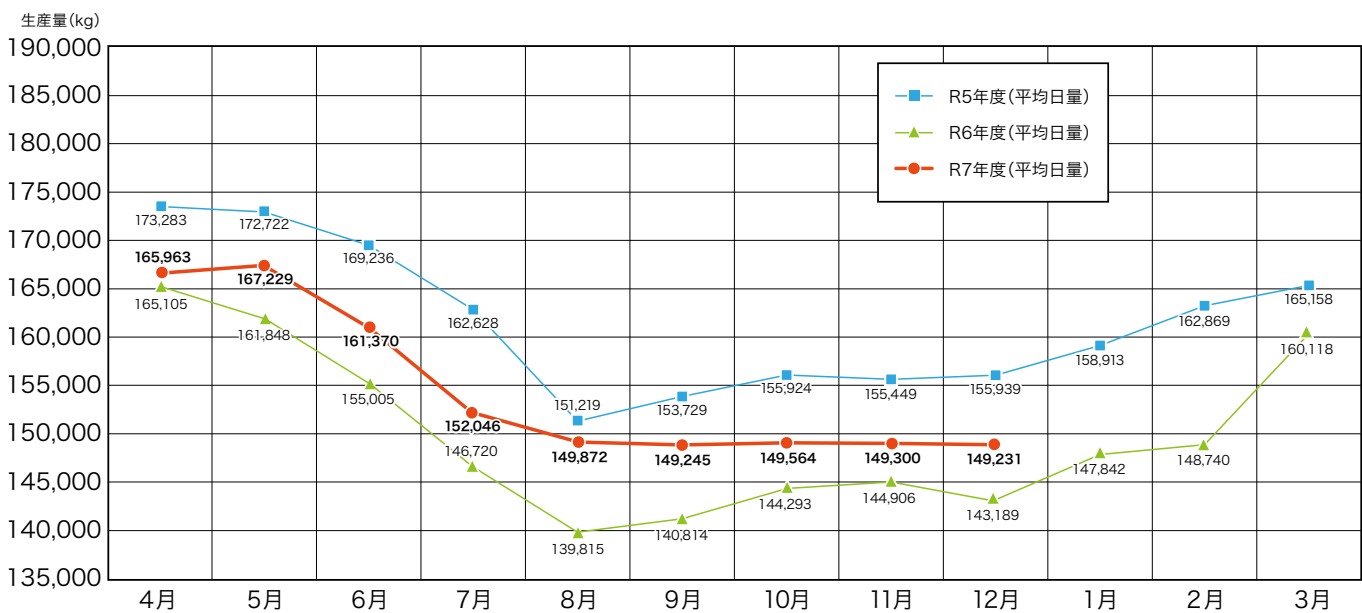


令和7年度 生乳生産実績(バルク乳量) (4月～12月分標準進捗率75.34%)

(単位: kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・セヶ宿支部	21	6,272,039.6	6,370,682.3	98.45	8,858,910.0	70.80
蔵王支部	19	5,402,118.0	5,422,684.0	99.62	7,634,854.0	70.76
柴田支部	10	2,565,916.0	2,628,524.0	97.62	3,701,139.0	69.33
伊具支部	12	2,947,639.4	2,790,792.7	105.62	3,920,384.0	75.19
仙台支部	12	2,723,196.0	2,743,975.0	99.24	3,834,243.0	71.02
大崎支部	15	2,199,819.0	2,262,120.0	97.25	3,176,467.0	69.25
遠田支部	11	6,509,273.0	4,566,542.0	142.54	6,454,115.0	100.85
加美支部	6	1,169,640.0	1,123,247.0	104.13	1,564,069.0	74.78
鳴子支部	6	1,138,522.0	1,166,641.0	97.59	1,586,496.0	71.76
栗原支部	23	3,931,591.0	4,055,768.0	96.94	5,672,514.0	69.31
登米支部	18	4,922,730.0	5,003,243.0	98.39	6,824,892.0	72.13
本吉支部	7	851,438.0	876,326.0	97.16	1,230,277.0	69.21
豊里支部	12	1,948,667.0	1,976,208.0	98.61	2,694,640.0	72.32
みやぎの酪農	172	42,582,589.0	40,986,753.0	103.89	57,153,000.0	74.51

みやぎの酪農乳量(平均日量)



[編集後記]

新年明けましておめでとうございます。
寒さが本格的になり、朝出勤するときの景色もすっかり冬らしくなりましたね。
さて、今号で「みやぎのだより」は、平成13年5月1日の第1号発行からお陰様で150号を迎えることができ、原稿や写真を提供いただいたみなさん、そして制作にご尽力いただいた関係者のみなさんに心よりお礼申しあげます。
令和8年が本誌も酪農家のみなさんも干支の丙午のように力強く前進し、努力が実を結ぶ年になりますように！今年もよろしくお願いします。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)

.....